

ダム管理施設の老朽化対策によりダム機能を維持し、 生命・財産を守る

【対策】80-1 ダム管理施設の老朽化対策

対策概要:「予防保全型の維持管理」への転換に向けて、要対策施設等の対応及びライフサイクルコストの縮減につながる取組を推進するため、老朽化したダム管理施設の修繕・更新・改良を実施する。

府省庁名:国土交通省

【事例】氷川^{ひかわ}ダム 防災・安全交付金事業

- 実施主体:熊本県
- 実施場所:熊本県八代市
- 事業概要:氷川ダムのゲート部分では塗装の劣化による腐食が発生しており、ゲートの塗装が剥がれた場合、錆びた部分から穴が開き、水漏れが発生する等洪水調節を行う機能に支障をきたすおそれがあったため、錆びにくい塗料を用いて塗り直すことにより耐久性の向上を実施。

- 事業費:約1.7億円※
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約1.7億円)

※金額については、当該ダムでの事業費であり、対策に要した費用は事業費の内数となる。

- 効果:放流設備の老朽化対策として、予防保全の管理水準に基づきゲート設備の塗装の塗り直しを実施した。防食機能の更新(塗装)により、耐久性が向上し、ゲート設備の延命化が図られ、ライフサイクルコストが縮減される。大雨や台風時に、ダム管理施設が適切に機能し、洪水調節を行うことにより、河川氾濫を防止し、人的被害・物的被害を軽減することが期待される。

